



川内たかゆき後援会便り

# 元気みなぎる通信

2016  
夏号

川内たかゆき後援会

〒 889-1802 宮崎県都城市山之口町花木 2253-6  
TEL・FAX：0986（77）5298

## 《残り1年半》

猛暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、川内たかゆき並びに後援会に対し多大なるご支援を頂き誠にありがとうございます。

市議会議員として早いもので3年目も半年が経過しました。所属会派や委員会も変更になり、気持ち新たに活動しております。最近、政治家による不祥事が多くひとくくりに見られることもあります。また、選挙権が18歳へ引き下げられ若者の政治家に対する悪いイメージを見聞きするに、悔しさとさびしい気持ちになります。

しかしながら、イメージを払拭するためには行動で示していくしかないと感じております。それ故に、発言するからには責任と自覚を持ち、しっかりと市民の皆様と向き合っていくことが本当に大事だと思っております。まだまだ、行動力不足で頼りない存在かもしれませんが、元気みなぎる都城目指してこれからも励みますので、ご支援ご指導を引き続き賜ります様お願いいたします。暑い夏、くれぐれもお体ご自愛ください。

都城市議会議員 川内 賢幸



## 平成28年3月議会 一般質問抜粋

### ◎農業振興策について

問本市の基幹産業は農業である。担い手不足や高齢化、TPP対応等課題が山積している。本市として中長期的ビジョンの策定が必要ではないのか？

答)本市の農業就業人口は2010年の8千386人から5千856人に減少し、40歳未満の若年農業者人口の全体に占める割合は、5.6%と非常に少ない状況でございます。特に、本市の農業粗生産額の8割以上を占める畜産農家の減少に伴う出荷頭数の減少については、極めて大きな問題であると考えています。

これまで、本市では、農林畜産業の振興につきまして、やる気のある農林畜産業者の方々へ6次産業化へ向けた取り組みを積極的に支援し、農家所得の向上につながる施策を推進しております。また、畜産振興についても和牛能力共進会での日本一獲得に向けた取り組みを積極的に支援するとともに、都城産宮崎牛のPRも行っております。さらに、圃場区画の拡大など農地整備や畑作営農の確立を図るとともに、担い手の確保及び農地の集積化などの取り組みを進めているところでございます。

今後は、農業のハード、ソフト両面の基盤整備による作業効率や生産性の向上を図り、地域農業経営の安定化と食料の安定供給を目指しもうかる農業の実現に向けた施策の展開が必要と考えております。



### ◎窓口などの接遇向上について

問接遇向上事業として、平成27年度より取り組んでおり28年度においても事業化されているが、2年で約1000万円をかけてやる事業なのか。0予算で職員の意識向上でもって取り組むべきではないか？

答)取り組みの成果といたしまして、接遇モニタリング調査結果では、研修実施前の達成率が68.8%だったのに対し、研修実施後の達成率は、78%で9.2ポイント上昇しました。特に、窓口対応につきましては、研修実施前の達成率が63.8%だったのに対し、研修実施後の達成率は75.6%で11.8ポイント上昇しております。

一方で、職員のあいさつや身だしなみ、説明の仕方などについてご指摘をいただいております。改善しなければならない点もあることから、更なる接遇向上のため、引き続き取り組みを推進してまいります。

平成28年度の事業内容といたしましては、新たに接遇ワッペンを作成し、職員一人一人が接遇目標を掲げ、その目標をワッペンに記入して常時着用することにより、常日頃から接遇向上の意識を持ち対応する事で、職員の接遇向上を図り、民間トップレベルと同等の接遇を目指してまいります。

# 平成28年6月議会 一般質問抜粋

## ◎本市の災害対応について

### ◎災害に応じた避難所指定についての考え。

答) 災害に応じた避難所は大変有効と考えるが、本市では混乱などを避けるため区分を設けない包括的な「指定避難所」としております。今後は耐震性のない避難所は指定解除し、耐震性の確保された避難所に見直しを進めていく予定です。

### ◎公有地への建設可能な仮設住宅件数と避難者数はどうなっているか。

答) 市内16カ所の市民広場を候補地とし、2千5戸の建設が可能。約4千6百人の避難者に対応できます。

### ◎キャンピングカー等を利用した避難援助についての考えはないか。

答) 非常に有効な手段の一つであると考えます。今後導入自治体からの情報を入手・分析し研究を進めてまいります。

### ◎耐震診断補助事業の共同住宅への拡大について。

答) 共同住宅の耐震化率は96.3%となっており現時点では考えていません。

### ◎災害救援ボランティアセンターの開設について拠点はどこにするのか。

答) 基本的に社会福祉センターになります。その他、山之口ふれあいの館、高城老人福祉館、山田総合福祉センター、高崎老人福祉館などを予定しております。



## ◎子育て環境の整備について

### ◎保育所等待機児童がいるのか。

答) 厚生労働省の定めるところによる保育所等待機児童はおりません。ただし、保護者の私的理由により特定の保育所を希望され、入所できずに空きを待っている「空き待ち児童」については6月1日現在で33名おります。

### ◎5月以降の入所受け受付と入所割合はどうなっているのか。

答) 平成27年度では、5月以降の入所申込は、5月～12月は毎月約100名、1月～3月は約150名の入所申込がございました。このうち5月～10月は、約70%の児童が入所できましたが、11月～1月にかけては約40%、2月～3月には、約35%の児童が入所しており、後半になると入所にしにくい状況となりました。

### ◎保育士等研修事業の実績はどうなっているのか。

答) 平成27年度の参加人数は、7月が3人、1月が8人の計11人で行われました。そのうち保育所や子育て支援センターに復帰された方が4名おりました。

## 《最近の活動報告》



【青井岳 林道整備】



【都城青年会議所 司会】



【会派研修 宮崎①】



【会派研修 宮崎②】



【管内視察 高城屋内練習場】



【熊本地震ボランティア】



【災害ボランティア議員連盟研修】



【熊本地震義援金届け 熊本県庁】

## 【議会所属変更など】

◎所属委員会：議会運営委員会（連続）、総務委員会 副委員長（前産業経済）、広報広聴委員会 副委員長（連続）、志布志道路建設対策特別委員会（連続）

◎会 派：進政会（前市民同志会） 都城市議会最大会派 8名（28.7.1 現在）